

市民フォト

# ふくしま夢つうしん

## CONTENTS

特集

ふくしまアップルホリデー…2

ふくしまの魅力人

トライアスロン

長正 憲武さん…6

インフォメーション

市内紅葉情報…8



Fukushima Peach Holiday

# ふくしま 2023 ピーチホリデイ

7月から9月までの本格的な桃シーズンの2カ月間、桃スイーツや桃メニュー、さらには桃の宿泊プランなど、市内の至るところで桃を満喫していただきました。

期間：2023年7月14日(金)～9月10日(日)  
参加店舗：67店舗  
キャンペーン参加人数：2,112人 (9月7日現在)



よつ葉のクローバーFARMERS GARDEN  
名前の通りまるごと1個の桃を使った「まるごと桃のパフェ」(左)と「桃のパフェ」(右)



匠のこころ 吉川屋  
全国でも珍しい、桃をふんだんに使った創作料理「もも会席」



おららのコミセ  
デザートとしても主食としても食べられる桃ガレット

# ふくしま 2023 アップルホリデイ

🍏 Fukushima Apple Holiday 2023 🍏

📅 期間 2023年10月27日(金)～2024年1月31日(水)



ほかに!

## アップルホリデイの取り組み

### 🍏 リンゴを温泉施設で再利用

美味しいリンゴを育てるために、選びに選び抜かれた実だけを残す摘果作業があります。その摘果リンゴを廃棄することなく温泉施設で「リンゴ風呂」として利用。甘酸っぱいリンゴの香りとともに癒されます。



### 🍏 移住希望者などに農業体験を!

福島の農業への関係人口を増やす取り組みとして、実際の畑を知ってもらいたいとの思いから、移住希望者などへの農業体験を実施。作業後は、希望する温泉施設に剪定した枝葉を持って行くと日帰り入浴料金の割引を受けられるなど、畑の資源を市内へ循環させる取り組みを行います。



「ふくしまアップルホリデイ2023」は、  
いよいよ10月27日(金)からスタート。  
アップルホリデイでは、形や大きさがふぞろいであったり、傷付いたりして、安値での販売や捨てるほかない規格外のリンゴを、果樹園から市内の飲食店や宿泊施設などへ直送し、美味しいメニューにアレンジして提供。事業者の手によって生まれ変わったおしゃれなリンゴスイーツなどに、市内各所で出会えます。  
また、期間中に参加店で手に入る2次元コードからアンケートに答えると、福島の特産品などが当たるキャンペーンに応募できます。  
今年の秋は福島市でリンゴを楽しみ尽くそう!



▲詳しくはホームページをご覧ください。

リンゴの美味しい  
季節になりました!



参加店の商品紹介

今年のアップルホリデイも取り組みに共感する店舗から続々と参加の申し込みをいただき、各店舗から工夫を凝らしたリンゴメニューが登場します。いろいろなお店を巡って、お気に入りのメニューを見つけてみませんか？



京都フルーツ大福 果寿庵  
りんごの大福

新鮮なりんごを、餅と白餡でぎゅっと包み込みました。大福を糸で切った際の、大福とフルーツが層をなした美しい断面もお楽しみいただけます。



Cafe HIRANAGA  
りんごのパネックク

ホットケーキの生地を薄くのばし、フレッシュなりんごをのせて焼き上げるオランダのパンケーキ。仕上げに酸味を効かせた自家製りんごソース、サワークリーム、粉糖、シナモン（シナモン抜きも可能です）をかけて提供。



PEACHMAN CAFE  
焼きりんごブリュレ

冷たいバニラアイスとアツアツの焼きりんごの相性はバツグン!!  
ブリュレの香ばしいパリッと食感と、りんごの皮も口の中でとろけるトロ〜り食感を、りんご丸ごと召し上がれ。

プロを考えるのが私で、メニューを考えるのが妻という感じです。スイーツは素材を大事に、吟醸果物を前面に出したシンプルなものメニューを基本にしています。そうした中にも細やかな調理、隠し味など、いろいろなサプライズがあつて喜ばれています。

県内外、最近台湾や米国など海外からのお客様も

「ふくしまピーチホリデイ」「ふくしまアップルホリデイ」は、昨年に続いての参加です。福島市のフルーツは、全国に誇れる特産品です。生で食べるだけでなく、スイーツにするとバリエーションも豊富になり、楽しみがさらに広がります。工夫を凝らしたメニューを、もって全国に知らせたいと思ったのが参加のきっかけです。

地元の生産者やお店を応援するキャンペーンのおかげで、県外から来られる方も多いです。最近、台湾や米国など海外からのお客様も増えています。ピーチホリデイでは、今夏も日光の天然水のかき氷「Peachmanスペシャル」が、一番人気でした。桃を丸ごと1個分使

旬のりんごを使ったメニューが続々  
お店をハシゴして楽しもう

スをとたっぷりかけたかき氷のドーム内に、生の桃がゴロゴロ入っています。一緒にヨーグルトクリームはさっぱりしていて、ペロリと食べられます。

これから始まるアップルホリデイでは、8種類のメニューを用意しています。どれも食べる前に写真に撮ってシェアしたくなるスイーツばかりです。「焼きりんごブリュレ」は、このメニューのために作っているととってもいい品種「紅玉」を使っています。熱々のとろける焼き

りんごに、冷たいバニラアイスクリームをのせました。シナモンは、お好みで。フレッシュなりんごをパリパリの餡でコーティングした「キャンディアップル」は、時期によってりんごの品種が変わるので、ぜひ違いを食べ比べてみてください。テイクアウトもOKです。

旬のフルーツを使う天然水のかき氷は、りんごのほかに契約農家さんから仕入れるシャインマスカットが登場します。季節が進んで気温が下がってきたら、薪ストーブで暖をと

どこを撮っても絵になる  
おしゃれなカフェ空間

カフェエリアは、内装に自由と多様性の街、米国・ポートランドのスピリットを反映させた倉庫の一角にあります。土壌の「壤」の字を当てた自社ブランド「吟醸果物」を使ったスイーツを求めて、世界中からお客様が来てくれるような空間にした

りながら冷たいかき氷を食べるという至福のひとときが待っています。

ほかにもサクサク「あつぷるポットパイ」、可愛いりんご型で焼いた「紅玉のまどれーぬ」、「ベイクロりんごクリマフィン」、「ハッピーあつぷるモンブラン」など、多彩なスイーツが登場します。中には、「前に熱々の焼きりんごを食べたので、今日は冷たい焼きりんご」大人の焼きりんご「アラスカ」を食べ、お土産にりんごのマドレーヌを買って帰ります」なんて方もいます。

アップルホリデイの参加店を巡れば、楽しみ方は無限に広がります。期間中、りんご色に染まる福島市に何度でもお出かけください。



『PEACHMAN CAFE』 加藤 修一 さん

(株) フルーツファームカトウ 代表取締役。大学卒業後、曾祖父が明治元年に福島市大笹生で始めた家業を受け継ぐ。市内に約2500軒ある果樹農家の中のナンバーワンを目指すべく土壌づくりにこだわり、自然界に広く存在する微生物を利用した酵素農法に取り組む。毎年変わる気候条件に合わせて、生産者の思いを表現しながら生産に励む。データの検証とブラッシュアップを約40年続け、究極の領域に到達した果実に「吟醸果実」(サクランボ・モモ・りんご)と名付けて自社ブランドとする。敷地内にある『PEACHMAN CAFE』(2021年7月オープン)は、吟醸果実を惜しげもなく使ったスイーツが楽しめる直営店。

いという願いを込めました。カフェを始めた背景には、妻も私も食べるのが大好きでよく食べ歩きをしてきたことや、東日本大震災後に知り合った「アル・ケッチャーノ」(山形県鶴岡市)の奥田政行シェフ、私にポートランド視察を勧めてくれたデザイナーさんのアドバイスなどがあります。

夫婦の役割分担としては、コンセ



米国・ポートランドのスピリットを反映させたおしゃれな店内



PEACHMAN CAFE

キッチンを提供したトレーラーを置いたカフェエリア、オフィス、果樹作業場が一つの空間に共存する。これまでの農業のスタイルをガラリと変えた建物内部に、生産者とお客様とのコミュニケーションを大切に考える加藤さんの思いがあふれる。

住所/福島市大笹生字水口50 ☎024-557-8157  
営業時間/10:30~17:00 (L.O. 16:00) ※木曜日は12:00オープン  
定休日/毎週火曜日・水曜日 ※冬期間(1月~3月)は、土日・祝日のみ営業  
駐車場/あり





# 力人

みりよくびと

# 魅

Noritake Nagasho

母と妹は水泳、父は陸上というスポーツ一家に生まれた長正憲武さん。スイム（水泳）、バイク（自転車）、ラン（長距離走）の3種目を一度に連続して行うスポーツ「トライアスロン」との出会いが、ご両親の勧めで参加した地元の大大会でした。小学1年生ですっかり魅力にとりつかれ、現在はプロアスリートとして海外のレースにも参加するまでに。2028年のロサンゼルスオリンピック出場に目標を定め邁進する長正さんをご紹介します。



地域に貢献しながら  
地元とトライアスロン  
両方を盛り上げたい

黄色いブイを目指し、真っすぐに泳ぐ練習をする長正さん

019年にはアジアU23トライアスロン選手権で、日本人最高位の4位に輝く快挙を成し遂げました。

## 自然と一体になりながら3種目を一度に楽しめるスポーツ

改めてトライアスロンの魅力を伺うと、こう話してくださいました。「スイム、バイク、ランの3種目あって、いろいろなことができることです。自分はこのことに集中して何かをするタイプではないので、すごく合っていると思います。もう一つは、自然と一体になれるような感覚を味わえることです」

昨年、単身でフランスに渡り合宿



福島県トライアスロン協会所属  
日本トライアスロン連合エリート選手  
ながしやう のりたけ  
長正 憲武 さん

1999年9月9日、福島市生まれ。小1の時に地元のトライアスロン大会に初出場。小5で今の指導者と出会うまで毎年出場し続ける。2014年、全国大会「オールキッズトライアスロン大会」の中3の部で優勝したことを機に、本格的に取り組み始める。高3の時には、ジュニアの日本代表として、アジアジュニア選手権、世界ジュニア選手権に出場。2018年、福島大学進学。2019年、アジアU23選手権4位(日本人最高位)。2020年、2021年日本U23選手権3位。2022年春、同大学を卒業。

## 鍛え上げた体で世界を目指す 福島市在住の トライアスロン選手



を行い、現地の大会にも出場してきた長正さん。「フランスって、町から郊外に出るともう別世界。畑や森林が広がっていて、砂利道とかもあって。そんな場所がある日、突然レース会場になるみたいな感じ。トライアスロンは、天候や自然にも左右されるので世界記録とかではなく、純粹にその大会の順位だけで勝負する競技というところも好きです」

## 豊かな自然を整備して 福島市をスポーツフィールドに

「鉄人レース」などと言われたりもするトライアスロン。「オリンピック・ク・ディスタンス」と「スプリント・

ディスタンス」の公式距離<sup>\*</sup>のほかに、競技距離の異なるさまざまなレースがあり、近年は生涯スポーツとしても注目されていると長正さんは話します。「一般の方が参加する大会ですと5歳ごとに年齢(エイジ)が決められていて、自分の年齢や実力に合わせて参加できるのも魅力です」

また、小学5年生で東日本大震災を、大学時代にコロナ禍を経験した長正さんは、地域に貢献しながら地元とトライアスロンと両方を盛り上げていきたいとも考えているそうです。「福島県を除いた東北5県を合わせると、福島県のトライアスロン人口の方が多し。しかも福島市内には、自然を感じながらスポーツを楽



第35回 インタビュー

## 大学にトライアスロン部を創部 アジアU23選手権で日本人最高位

身長182cm、体重72キロ。鍛えた体で世界を目指す長正憲武さん。訪ねた日は、炎天下のなか福島大学のプールで黄色いブイを目指し、真っすぐに泳ぐ練習をしていました。これはオープンウォータースイムのための練習で、プールではなく海や川、湖など自然の中で泳ぐ際、体力を消耗しないよう自分で選択した目標物に対し、真っすぐにコースを取り泳ぐ練習とのことです。

長正さんが現在も指導を受けている蓮沼哲哉さん(福島大学准教授・スポーツ社会学)と出会ったのは、小学5年生の時でした。中学と高校では、陸上部に所属しながら蓮沼さん主宰のジュニア向けサークルで競技力を磨いてきたといいます。2018年に福島大学に進学するとすぐにトライアスロン部を立ち上げ、2



最長距離となるバイクはランパートへの体力を温存しながらペダルを踏みます。



最後の種目であるランパート。体力の限りを尽くします。

しめる環境がたくさんあります。整備されれば観光資源にもなるはず。日本の原風景が残る福島市茂庭地区と摺上川ダムを会場に、トライアスロン大会を開催するのが夢です」  
2023年10月は、鹿児島国体2023、第29回日本トライアスロン選手権(東京・台場)と、大きな大会が続きます。実績を積みながらロサンゼルスオリンピック出場を目指す長正さんを、みんなで応援しましょう。





緋色、朱色、橙色…山を色鮮やかに染め上げる福島市の紅葉が今年も皆さんをお待ちしています。

定番どころから、意外と知られていない「隠れ」スポットなど、今年の秋は福島で紅葉を楽しんでみませんか？



市内の紅葉情報は、  
こちらをご覧ください。

### つばくろ谷

「磐梯吾妻スカイライン」の沿線に広がる絶景スポットで、イワツバメが飛び交っていたことから名付けられた渓谷。

谷底までの高さ80メートルの「不動沢橋」から望む景色は圧巻です。

[所]福島市町庭坂字神ノ森

例年の見頃：10月中旬～下旬



### あづま総合運動公園

全長約520mに及ぶ園路には、116本のイチョウが植えられています。この美しいいちょう並木は、例年見頃となる10月下旬からライトアップされ、まるで映画のワンシーンのような光景が楽しめます。

[所]福島市佐原字神事場1

例年の見頃：10月下旬～11月上旬



### 文知摺観音

松尾芭蕉も訪れた文知摺観音。境内の数百本のもみじは秋の深まりとともに真っ赤に色づき、見に来た人を楽しませます。

歴史を感じながら、ゆっくりと散策するのもおすすめです。

[所]福島市山口字文字摺68

例年の見頃：10月下旬～11月上旬



### 摺上川ダム（茂庭っ湖）

摺上川ダムによってできた湖は「茂庭っ湖」として親しまれ、秋には澄んだ青空のもと赤や黄に染まった色とりどりの紅葉に囲まれます。周辺にはキャンプ場や、日帰り温泉施設「もにわの湯」などもあり、アウトドアも楽しめます。 [所]福島市飯坂町茂庭字蟬狩野山25

例年の見頃：10月下旬～11月上旬



## 市民フォト・ふくしま夢つうしん

2023年10月1日発行

2023年10月号 No.54



編集発行 福島市役所 広聴広報課  
〒960-8601 福島市五老内町3-1  
TEL 024-525-3710 FAX 024-536-9828  
E-mail: kouhou@mail.city.fukushima.fukushima.jp

夢通信  
バックナンバーは  
市ホームページで!



福島市公式SNS



📷 表紙紹介

夜の果樹園

ライトアップされた果樹園の幻想的な空間でリンゴとドリンクが堪能できる。会場は、まるせい果樹園（飯坂町平野）10月26～29日午後5～8時に開催。詳細は観光ノートで発表。乞うご期待!!

※次号は2024年1月発行予定です。